

## 2. 行動計画の進捗管理

### 2-1. 行動計画の概要

沖縄県は、外来種による影響を最小限に抑え、沖縄の生物多様性を保全していくため、外来種対策の方向性を示す指針を平成30年6月に策定し、外来種リストを平成30年8月に策定した。指針において定めた将来像「本県への侵略的外来種の侵入が予防され、すでに定着している侵略的外来種については対策が実施され、外来種による生態系等への影響が最小限に抑えられ、人の生命・身体、農林水産業への被害が防止されるとともに、生物多様性が保全されている」を実現するために実施する具体的な取組の計画として、令和2年3月に行動計画を策定した。

行動計画の主な構成を以下に示す。

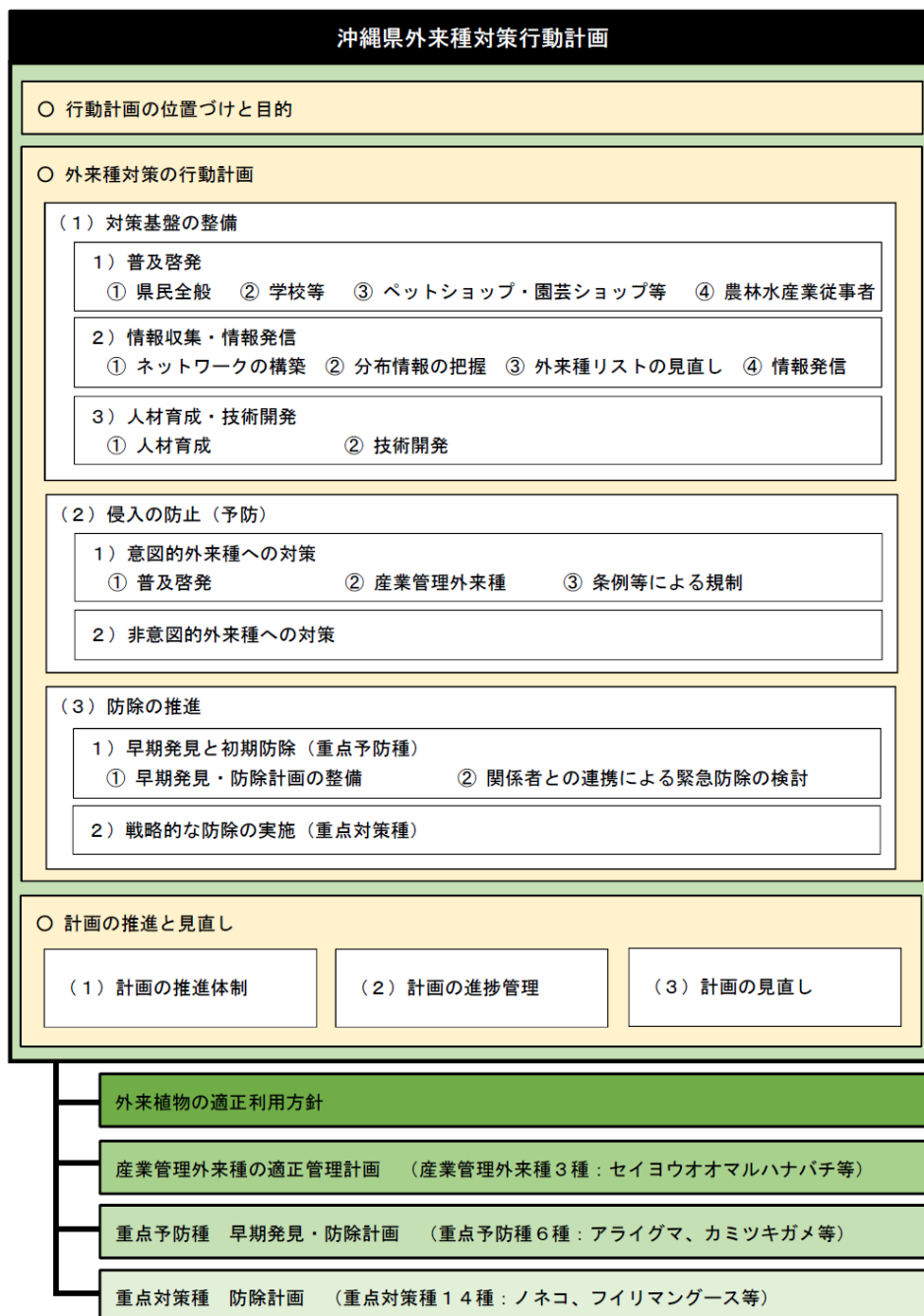


図 2-1.1 行動計画の構成

## 2-2. 行動計画の進捗管理

### (1) 概要

令和2年3月に策定した行動計画の進捗管理として、沖縄県庁関係各課（5部庁15課）へ書面ヒアリングを実施し、計画の推進状況を把握した。関係各課の主に関係する内容等を以下に示す。

表 2-2.1 県庁関係各課の所掌事務等

部	課	・各課の関係する所掌事務等、⇒外来種に関する関係内容
環境部	自然保護課	・自然環境の保全に関すること等 ⇒沖縄県外来種対策行動計画全体の推進
	環境再生課	・環境教育及び環境保全活動の推進に関すること等 ⇒環境教育、緑化における外来種の適正利用等
	環境整備課	・そ族昆虫の駆除に関すること ⇒セアカゴケグモの情報等
保健 医療部	衛生薬務課	・ハブ対策事業に関すること等 ⇒タイワンハブ対策等
農林 水産部	営農支援課	・農業の生産技術の改善及び普及に関すること等 ⇒農業における外来種の適正利用、有害鳥獣捕獲等
	園芸振興課	・野菜、果樹、花き等の生産指導、加工指導等に関すること等 ⇒果樹や花き等、園芸で利用される外来種の適正利用等
	畜産課	・家畜飼料の需給及び牧野草地改良造成に関すること等 ⇒牧草等、畜産で利用される外来種の適正利用等
	森林管理課	・緑化の調整及び推進に関すること等 ⇒緑化における外来種の適正利用等
土木 建築部	道路管理課	・道路の維持管理に関すること等 ⇒道路の維持管理における外来種の適正利用等
	河川課	・河川の新設、改良、保全及び管理に関すること。 ⇒河川の維持管理における外来種対策等
	都市公園課	・都市公園の管理その他都市整備に関すること等 ⇒都市公園の維持管理における外来種の適正利用等
	港湾課	・県管理港湾の新設、改築及び維持管理に関すること等 ⇒港湾における外来種の侵入監視等
	空港課	・空港の建設及び管理に関すること。 ⇒空港における外来種の侵入監視等
教育庁	県立学校教育課	・県立学校に関すること ⇒高校等における外来種対策の普及啓発等
	義務教育課	・市町村立小学校、中学校及び幼稚園に関すること ⇒小学校、中学校における外来種対策の普及啓発等

書面ヒアリングの結果を受け、行動計画に係る取組内容について、今年度の実施状況（令和4年1月現在）を整理した。今年度に取り組のあった関係各課の主な実施状況を表2-2.2~3に示す。

表2-2.2 県庁関係各課の令和4年度の主な実施状況

部	課	各課の行動計画に関する取組内容
環境部	自然保護課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画の全体項目について実施。</li> <li>・「おきなわ外来種シンポジウム」の開催</li> <li>・ノイヌ、ノネコに関する各種啓発活動を実施</li> <li>・庁内各課を通じて農業関係者や緑化関係者への外来種に関するチラシ配布</li> <li>・ネットワーク構築に向けた情報収集</li> <li>・各種防除事業におけるモニタリング調査・捕獲の実施</li> <li>・新規重点対策種（ノヤギ、ヤエヤママドボタル）の指定、外来種リストの更新</li> <li>・R3年度報告書等のホームページでの公開</li> <li>・ヒアリ同定研修会の開催</li> <li>・慶良間諸島における捕獲従事者等の育成を目的とした研修会の開催</li> <li>・哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類・クモ類、植物対策での技術開発実施</li> <li>・各種防除事業等の実施（ノイヌ、ノネコ、ファイリマングース、ニホンイノシシ、ニホンイタチ、インドクジャク、コウライキジ、グリーンアノール、タイワンスジオ、タイワンハブ、オオヒキガエル、サイカブト、ハヤトゲフシアリ、ツルヒヨドリ、アメリカハマグルマ）</li> </ul>
	環境再生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県地域環境センターで啓発活動を実施</li> <li>・エコライフ&amp;ネイチャーフェアを実施</li> <li>・ギンネムの防除技術の開発</li> <li>・デイゴヒメコバチの防除技術の開発、モニタリング</li> <li>・アカギヒメヨコバイの防除技術の開発、モニタリング</li> </ul>
保健医療部	衛生薬務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬の適正飼育に関する啓発（県立図書館での展示等）</li> <li>・ハブ防除対策講習会を受け実施</li> </ul>
農林水産部	営農支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種対策資料（トマト農家向け（セイヨウオオマルハナバチ・クロマルハナバチ）の配布協力</li> <li>・有害鳥獣対策として、ニホンイノシシ、コウライキジ、インドクジャク、マングースを捕獲</li> </ul>

表 2-2.3 県庁関係各課の令和4年度の主な実施状況（続き）

部	課	各課の行動計画に関する取組内容
農林水産部	園芸振興課	・外来種対策資料（農作物等（野菜や果樹）利用者向け）の配布協力
	畜産課	・畜産農家向けの啓発資料（セイヨウミツバチ、牧草管理）の配布協力 ・セイヨウミツバチの群数の適正調整
土木建築部	道路管理課	・適切な緑化に向けた啓発資料の配布協力
	河川課	・適切な緑化に向けた啓発資料の配布協力
	都市公園課	・適切な緑化に向けた啓発資料の配布協力
	港湾課	・ヒアリ等外来種の情報の事務所、市町村担当者との共有 ・港湾の関連機関との協議会への参加にて情報を収集 ・非意図的外来種のモニタリング調査の実施
教育庁	県立学校教育課	・外来種教材の配布協力
	義務教育課	・ペットの適正飼養のポスター等の配布協力 ・生きものいっせい調査の協力 ・外来種教材の配布協力

また、行動計画の項目ごとに、各部署の取組を整理した。

表 2-2.4 行動計画の実施状況（令和4年度）

行動計画	進捗管理項目	No	環境部	保健医療部	農林水産部	土木建築部	教育庁
(1) 対策基盤の整備							
1) 普及啓発							
① 県民全般	イベントへの出展数	1	5回	1回(犬の適正飼育)			
② 学校等	資料・教材等の配布数	2	3800部				資料の配布協力
③ ペットショップ・園芸ショップ等	チラシ・ポスターの配布箇所数	3	530部				
④ 農林水産業従事者	外来種に関する周知件数	4			資料の配布協力		
2) 情報収集・情報発信							
① ネットワークの構築	ネットワーク参加団体数	5	情報収集				
② 分布情報の把握	分布情報の収集・調査件数	6	18件				
③ 外来種リストの見直し	外来種リストの更新の有無	7	有り(重点対策種指定)				
④ 情報発信	プレスリリース数 ホームページの更新の有無	8	4件 有り				
3) 人材育成・技術開発							
① 人材育成	講習等の実施件数	9	6回	有り(ハブ講習会)			出前授業の周知
② 技術開発	新規防除技術の有無	10	有り				
(2) 侵入の防止							
1) 意図的外来種への対策							
① 普及啓発	(1)1)及び2)	11	有り		資料の配布協力	資料の配布協力	
② 産業管理外来種							
セイヨウオオマルハナバチ	7項目	12	1項目		1項目(普及啓発)		
クロマルハナバチ	7項目	13	1項目		1項目(普及啓発)		
セイヨウミツバチ	4項目	14	1項目		1項目(普及啓発)		
③ 条例による規制	条例等の規制に関する検討の有無	15					
2) 非意図的外来種への対策	港湾・保税蔵置場周辺等におけるモニタリング調査の実施有無	16	有り(アリ類、セアカゴケグモ)			有り(ヒアリ等)	
(3) 防除の推進							
1) 早期発見と初期防除(重点予防種)							
① 早期発見・防除計画の整備							
アライグマ	6項目	17	3項目				
カミツキガメ	5項目	18	2項目				
アルゼンチンアリ	5項目	19	3項目				
アカカミアリ	5項目	20	3項目				
ヒアリ	5項目	21	3項目				
セアカゴケグモ	5項目	22	3項目				
② 関係者との連携による緊急防除	緊急防除体制検討の有無	23	有り				
2) 戦略的な防除の実施(重点対策種)							
ノネコ	4項目	24	4項目				
フイリマングース(個別計画)							
ニホンイタチ	4項目	25	4項目				
ノイヌ	4項目	26	3項目	1項目(普及啓発)			
ニホンイノシシ(個別計画)							
コウライキジ	10項目	27	5項目		1項目 (農業被害の低減)		
インドクジャク	12項目	28	4項目		1項目 (生態系影響低減)		
グリーンアノール	8項目	29	8項目				
タイワンスジオ	6項目	30	5項目				
タイワンハブ	6項目	31	6項目	1項目(普及啓発)			
オオヒキガエル	4項目	32	4項目				
サイカブト	4項目	33	2項目				
ツルヒヨドリ	4項目	34	4項目				
アメリカハマグルマ	4項目	35	2項目				
ハヤトゲフシアリ	3項目	36	2項目				
実施数			34	4	7	2	2

### 3. 行動計画の評価等の検討

行動計画を確実に推進していくため、行動計画で定めた進捗管理項目について、令和2年度から毎年度の実施状況を確認してきた。今年度は行動計画策定（令和2年3月）後、3年度目となり行動計画の取組状況を中間評価するため、関係各課にヒアリングを行い、令和2～4年度の経年の取組進捗状況（令和4年1月現在までのヒアリング結果）を評価した。

また、次期行動計画の策定に向けて進捗管理手法等の見直しを行っていくにあたり、進捗管理項目、指標、目標等設定により新たな管理・対策等につながるロジックモデルについて検討した。

#### 3-1. 行動計画の中間評価

取組の評価にあたっては、以下の点を踏まえ進捗状況や課題等について整理した。

- ・令和4年度外来種対策事業第1回検討委員会で取組の評価手法について提示した（各年度、各項目について取組の実施回数や実施割合等を整理し、基準を設定して一律で評価した）。
- ・検討委員会では、客観的な評価の仕方は良いものの、一律での評価ではなく分類群に合わせた戦略立案と評価基準が必要などの意見が挙げられた。
- ・上記を踏まえ、各項目について令和2～4年度の具体的な取組内容を確認できるよう整理し、経年の取組状況と今後の課題を定性的にとりまとめて中間評価した。

#### (1) 中間評価結果の要点

##### ① 対策基盤の整備

###### 【普及啓発】

イベントへの出展、チラシの配布等については、令和2～4年度にかけて継続的に実施され、引き続き取組の推進が必要。今後は現在の管理項目以外の取組を評価に反映し、さらに対象者にアンケート・ヒアリング等実施するなど理解度の把握が必要。

###### 【情報収集・情報発信】

分布情報の収集・調査件数については、令和4年度にモニタリングや情報収集など多くの取組を実施。今後も継続して取組を推進し、対策等への活用が必要。情報発信については、各年度で取組が実施され、令和4年度には「おきなわ外来種シンポジウム」を開催。今後も継続した取組の推進が必要。

###### 【人材育成・技術開発】

人材育成については、ヒアリ同定研修会等の講習会等を経年的に実施。新規防除技術については、特に令和4年度に多くの調査・検討・技術開発を実施。今後も継続した取組の推進が必要。

##### ② 侵入の防止

###### 【意図的外来種への対策】

普及啓発は経年的に実施され、特に令和4年度は環境部・農林水産部・土木建築部の多くの

部署が協力して取組して実施。今後も横断的な取組の推進が必要。産業管理外来種については、モニタリング・農家指導などが経年的に未実施であり、今後取組の推進が必要。条例による規制については、令和 3 年度以降未実施であり、今後、検討委員会等で規制の必要性の検討が必要。

### ③ 防除の推進

#### 【重点予防種】

令和 4 年度には対象 6 種全ての生息調査が実施され、いずれの種類も確認されていない。引き続き侵入監視が必要。

#### 【重点対策種】

17 種（2 種は個別計画）が対象。ノイヌなど多くの種類は令和 4 年度にかけてほとんどの項目を継続して実施。一方、コウライシギなど一部の種類では経年的に未実施項目があり、今後取組の推進が必要。ツルヒヨドリなどの外来植物については、令和 3 年度まで多くの項目が未実施であったが、令和 4 年度から環境省など関係機関の協力を得ながら実施。今後も横断的な取組の推進が必要。

### 3-2. ロジックモデル（案）

---

次期行動計画の進捗管理手法・項目を適切に検討するための考え方として、第1回検討委員会でロジックモデルの一例を示した。第2回検討委員会では前回委員会で提示したモデル例を踏まえ、各実施項目についてロジックモデル（案）を設定し示した。

ロジックモデル（案）では、現行計画の各実施項目について、インプット、アウトプット、アウトカム（初期、中間、最終）を整理しており、最終アウトカムからバックキャストにより目標、指標、実施内容を当てはめた。ロジックモデルで計画全体を再確認し、必要に応じて実施内容等を追加・見直すことなどを想定しており、令和5年度以降に各作業部会での意見を聴取しながら可能な限り定量的内容を検討する。

なお、第2回検討委員会では、ロジックモデルの内容について概ね了承を得ているが、「アウトプットと初期アウトカムの間のギャップが大きいため、初期アウトカムが満たされる地域で集中してできないか」などの意見があったことから、本事項についても検討しながら進めていく必要がある。



表 3-2.1 ロジックモデルによる進捗管理の見直し方針の検討 (1)

行動計画に示されている進捗管理項目	実施項目	No.	項目	インプット	実施内容	アウトプット	指標案	初期アウトカム	目標案	中間的アウトカム	中間的2	最終アウトカム		
(1) 対策基盤の整備	1) 普及啓発	1	イベントへの出席数	・年2回 ・先生への教材周知(年2回)4月と7月	・イベント参加者の数 ・先生への配布数	・イベント参加者の数 ・先生への配布数	・イベント参加者の理解度(アンケート)の向上 ・先生を通じての理解度(アンケート)の向上	・外来種の意味を知っている人90% ・沖縄県の外来種対策の認知度70%	・県民の外来種問題の認識向上 ・県民(子供)の外来種問題の認識向上	・県民の外来種問題の認識向上	中間的2	最終アウトカム		
		2	資料・教材等の配布数	・年2回 ・先生への教材周知(年2回)4月と7月	・先生への配布数	・先生への配布数	・先生を通じての理解度(アンケート)の向上	・外来種の意味を知っている人90% ・沖縄県の外来種対策の認知度70%	・県民の外来種問題の認識向上	・県民(子供)の外来種問題の認識向上	中間的1			
		3	チラシ・ポスター等の配布面数	・年1回 ・農家等への周知(年1回)	・事業者への配布数 ・農家等への配布数	・事業者への配布数 ・農家等への配布数	・事業者の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・事業者の外来種問題の認知度70%	・事業者の外来種問題の認識向上	・事業者の外来種問題の認識向上	中間的1			
		4	外来種に関する周知件数	・年1回 ・農家等への周知(年1回)	・ネットワーク参加回数	・ネットワーク参加回数	・ネットワーク参加団体の増加	・農家等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・農家等の外来種問題の認知度70%	・外来種対策体制(ネットワーク)の構築 ・外来種侵入情報の整備	・外来種対策体制(ネットワーク)の構築 ・外来種侵入情報の整備		中間的1	
		5	ネットワーク参加団体数	・年1回 ・農家等への周知(年1回)	・ネットワーク参加回数	・ネットワーク参加回数	・ネットワーク参加団体の増加	・農家等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・農家等の外来種問題の認知度70%	・外来種対策体制(ネットワーク)の構築 ・外来種侵入情報の整備	・外来種対策体制(ネットワーク)の構築 ・外来種侵入情報の整備		中間的1	
	2) 非意図的侵入種への対策	6	分布情報の収集・調査件数	・年1回 ・外来種リストの更新の有無	・年1回 ・外来種リストの更新	・外来種侵入情報の収集 ・外来種リストの更新	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上		中間的1	
		7	外来種リストの更新の有無	・年1回 ・外来種リストの更新の有無	・年1回 ・外来種リストの更新	・外来種リストの更新 ・外来種リストの更新	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・外来種リストの更新 ・県民の外来種問題への理解度(アンケート)の向上		中間的1	
		8	プレスリリース数	・年2回 ・ホームページの更新の有無	・年2回 ・ホームページの更新	・報道された件数 ・ホームページの更新	・ホームページの更新 ・ホームページの更新	・ホームページの更新 ・ホームページの更新	・ホームページの更新 ・ホームページの更新	・ホームページの更新 ・ホームページの更新	・ホームページの更新 ・ホームページの更新		中間的1	
		9	人材育成	・年6回 ・講習等の実施件数	・年6回 ・講習等の実施	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等		・講習会の参加者数 ・新規防除技術の導入等	中間的1
		10	技術開発	・年1回 ・新規防除技術の有無	・年1回 ・新規防除技術の有無	・新規防除技術の開発・導入等	・新規防除技術の開発・導入等	・新規防除技術の開発・導入等	・新規防除技術の開発・導入等	・新規防除技術の開発・導入等	・新規防除技術の開発・導入等		・新規防除技術の開発・導入等	中間的1
(2) 侵入の防止(予防)	1) 意図的侵入種への対策	11	※(1)及び(2)を指標とする	-	-	-	-	-	-	-	中間的2	最終アウトカム		
		12	各産業管理外来種に基づく対策の実施項目数	・定期モニタリング実施(県民観察法) ・農家等への指導・啓発の実施 ・県民等への普及啓発	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数 ・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	中間的1			
		13	モニタリングによる逸出状況の把握	・定期モニタリング実施(県民観察法) ・農家等への指導・啓発の実施 ・県民等への普及啓発	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数		中間的1	
		14	保全上重要な地域の野外在着個体群の抑制	・定期モニタリング実施(県民観察法) ・農家等への指導・啓発の実施 ・県民等への普及啓発	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数	・逸出状況の確認(捕獲・確認位置の記録) ・指導・啓発実施回数 ・県民等へのチラシ等の配布数		中間的1	
		15	条例等による規制の有無	・年1回検討	・年1回検討	・条例等による規制の有無	・条例等による規制の有無	・条例等による規制の有無	・条例等による規制の有無	・条例等による規制の有無	・条例等による規制の有無		・条例等による規制の有無	中間的1
		16	港湾・保樹設置周辺等におけるモニタリング調査の実施の有無	・年1回実施	・年1回実施	・モニタリングの実施	・モニタリングの実施	・モニタリングの実施	・モニタリングの実施	・モニタリングの実施	・モニタリングの実施		・モニタリングの実施	中間的1

指標の母体像の要旨  
(本県への侵略的外来種の侵入が予防され、すでに定着している侵略的外来種については対策が実施され、外来種による影響が最小限に抑えられ、生物多様性が保全されている)

表 3-2.1 ロジックモデルによる進捗管理の見直し方針の検討 (2)

行動計画に示されている進捗管理項目 実施項目 ① 早期発見・防除方針の整備	No	インプット 項目	実施内容	アウトプット	指標案	初期アウトカム		中間アウトカム		最終アウトカム
						目標案	中間的	中間的	中間的	
アライグマ	17	早期発見： 侵入状況の監視	・定期モニタリング実施 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発	・モニタリング調査結果(調査位置・侵入状況の有無)・飼育者へのチラシ等の配布数 ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・生息状況ヒアリング結果(ヒアリング地域、確認等の分布数) ・飼育者等へのチラシ等の配布数 ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止 ・県民等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・アライグマの生息確認数0の維持 ・アライグマの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・重点予防種の侵入防止 ・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減	<p>指針の実現 (本県への自然的外来種の侵入が抑制され、オオビロコシによる自然防衛が実現し、生態系が健全に保たれていること)</p>
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上 ・イベント参加者の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・アライグマの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
カミキリガメ	18	早期発見： 野生化個体の把握 飼育状況の把握	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・生息状況ヒアリング結果(調査位置・侵入状況の有無) ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止	・カミキリガメの問題、対応策の認知度70% ・カミキリガメの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・カミキリガメの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
アルゼンチンアリ	19	早期発見： アルゼンチンアリの侵入監視	・侵入リスクの高い場所等での監視調査 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無) ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・関係調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止	・アルゼンチンアリの生息確認数0の維持 ・アルゼンチンアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・アルゼンチンアリの生息確認数0の維持 ・アルゼンチンアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
アカカミアリ	20	早期発見： アカカミアリの侵入監視	・侵入リスクの高い場所等での監視調査 ・関係事業者を中心に生態等を周知し情報収集 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無) ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・関係調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止	・アカカミアリの生息確認数0の維持 ・アカカミアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・アカカミアリの生息確認数0の維持 ・アカカミアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
ヒアリ	21	早期発見： ヒアリの侵入監視	・侵入リスクの高い場所等での監視調査 ・関係事業者を中心に生態等を周知し情報収集 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無) ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・関係調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止	・ヒアリの生息確認数0の維持 ・ヒアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・ヒアリの生息確認数0の維持 ・ヒアリの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
セアカゴケグモ	22	早期発見： セアカゴケグモの侵入監視	・侵入リスクの高い場所等での監視調査 ・関係事業者を中心に生態等を周知し情報収集 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・定期調査結果(調査位置・侵入状況の有無) ・イベントへの県民の参加者数、チラシ等の配布数 ・関係調査結果(調査位置・侵入状況の有無)	・水際での侵入阻止	・セアカゴケグモの生息確認数0の維持 ・セアカゴケグモの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		
		普及啓発	・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知 ・県民等への直接ヒアリング ・関係許可を受けている飼育者への普及啓発 ・甲、イベント、チラシ配布等による県民等周知	・水際での侵入阻止 ・飼育者等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上	・セアカゴケグモの生息確認数0の維持 ・セアカゴケグモの問題、特徴を知っている人90% ・対応策の認知度70%	・重点予防種の侵入防止 ・県民の外来種問題の認識向上				
② 緊急防除の検討	23	緊急防除体制の検討の有無	・年1回	・緊急時の防除体制の検討	・分布拡大段階での防除	・緊急時の防除体制の整備	・新たな外来種の侵入防止	・新たな外来種の侵入防止による生態系等の影響削減		





表 3-2.1 ロジックモデルによる進捗管理の見直し方針の検討 (5)

行動計画に示されている進捗管理項目	実施項目	No.	インプット	実施内容	アウトプット	初期アウトカム		中間アウトカム		最終アウトカム
						指標	目標	中間的1	中間的2	
(3) 2) 戦略的防除の実施の推進	自然環境保全上重要な地域における早期除去	34	自然環境保全上重要な地域における早期除去	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばる地域、西表島での侵入状況の調査及び定期的なモニタリング</li> <li>・やんばる地域、西表島での生育確認箇所では、関係機関と協力しながら除去を推進</li> <li>・モニタリングで確認後除去し、自然環境保全上重要な地域周辺での調査、結実前の茎切断等により拡散リスク低減</li> <li>・県民、事業者へのパンフレット配布、住人参加型除去作業等の参加人数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング情報の整理(調査区域、生育分布・除去実施区域等)の記録)</li> <li>・重要地域への侵入阻止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要地域での生育確認0件の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばる地域および西表島からの排除</li> </ul>			
	拒絶防止のための県民・事業者への普及啓発		拒絶防止のための県民・事業者への普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者へのパンフレット配布、住人参加型除去作業等の参加人数</li> <li>・在来植物生息地等の警戒対象地の設定</li> <li>・調査により確認された場合の除去</li> <li>・県民、事業者へのパンフレット配布、住人参加型除去作業等の参加人数</li> <li>・発見地域での関係者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地への侵入阻止</li> <li>・県民等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地での生育確認0件の維持</li> <li>・アメリカハマグルマの増加を知っている人90%</li> <li>・対応策の認知度70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・希少植物生育地からの排除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既侵入の外来種による生体等々の影響低減</li> </ul>		
	ハヤトグアシアリ		ハヤトグアシアリの排除	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見地域での関係者との連携</li> <li>・発見地域での関係者との連携</li> <li>・発見地域での関係者との連携</li> <li>・発見地域での関係者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見状況の確認(捕獲、確認位置の記録)</li> <li>・県民等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地での生育確認0件の維持</li> <li>・アメリカハマグルマの増加を知っている人90%</li> <li>・対応策の認知度70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地での生育確認0件の維持</li> <li>・アメリカハマグルマの増加を知っている人90%</li> <li>・対応策の認知度70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>
ハヤトグアシアリ		侵入状況の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・侵入状況の調査(捕獲、目視調査等)、侵入監視</li> <li>・情報収集と情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発見状況の確認(捕獲、確認位置の記録)</li> <li>・県民等の外来種問題への理解度(アンケート)の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地での生育確認0件の維持</li> <li>・アメリカハマグルマの増加を知っている人90%</li> <li>・対応策の認知度70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒対象地での生育確認0件の維持</li> <li>・アメリカハマグルマの増加を知っている人90%</li> <li>・対応策の認知度70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民、事業者の外来種問題の認識向上</li> <li>・県内未確認地域での発見数0件の維持</li> </ul>	

### 3-3. 今後のスケジュール等

今年度は検討委員会の意見等を踏まえ、令和2～4年度の取組内容で中間評価を行った。最終的な評価は令和2～5年度の取組み、令和6年度で把握できた取組の内容で評価を行う。

令和5年度に各作業部会において、ロジックモデルを提示し各実施項目の指標、目標及び取組内容の見直しの必要性等について確認し、行動計画及び進捗管理の見直し方針を検討する。

令和6年度に取組の進捗状況を評価し、各実施項目の取組内容について各作業部会での意見を踏まえて確認、見直しを行う。

なお、本計画では重点対策種などの指定時期が異なることから、参考として各種の実施計画策定及び実施年度一覧を表3-2.2に示した。

	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
外来種対策 行動計画	計画推進(5年間)					見直し	
計画の 進捗管理	取組の進捗確認(年1回)					見直し	
			指標・目標の 見直し検討 中間 評価			評価	
委員会			第1回 第2回	第1回 第2回	第1回 第2回	年2回実施 予定	
備考			・R2、R3、R4の取組結果で、進捗状況・課題等を整理 ・進捗管理の指標・目標等の見直し検討	・各作業部会に各実施項目、取組内容、指標、目標等について確認 ・行動計画、進捗管理の見直し方針確定	・R2～R5までの取組とR6の取組計画で進捗状況を評価 ・各実施項目の取組内容について確認・見直し		

図 3-2.1 今後のスケジュール

表 3-2.2 各種の実施計画策定及び実施期間一覧

行動計画での対象種	策定及び実施期間									
	No	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
■侵入の防止										
1) 意図的外来種への対策 (産業管理外来種)										
セイウオオマルハナバチ	12	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
クロマルハナバチ	13	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
セイウミツバチ	14	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
■防除の推進										
1) 早期発見と初期防除(重点予防種) (早期発見・防除計画の整備)										
アライグマ	17	策定	1年目	2年目	3年目 カテゴリ変更 (予防種)					
カミツキガメ	18	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
アルゼンチンアリ	19	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
アカカミアリ	20	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
ヒアリ	21	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
セアカゴケグモ	22	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
2) 戦略的な防除の実施(重点対策種)										
ノネコ	24	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
フイリマングース(個別計画)										
ニホンイタチ	25	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
ノイヌ	26	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
ニホンイノシシ(個別計画)										
コウライキジ	27	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
インドクジャク	28	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
グリーンアノール	29	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
タイワンスジオ	30	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
タイワンハブ	31	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
オオヒキガエル	32	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
サイカブト	33	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
ツルヒヨドリ	34	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
アメリカハマグルマ	35	策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
ハヤトゲフシアリ	36			策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
ノヤギ	37				策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
ヤエヤママドボタル	38				策定	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目